

# Embedded VRT

## iTRON上でLinuxを使用可能にするソリューション

国内の組込OSの開発として50%以上のシェアを誇るiTRONに、汎用的なソフトウェアを多く持つLinuxの様々な機能を活用することができるソリューションです。

### LinuxのアプリをiTRONで活用

ソフトウェア部品の不足しているiTRON。Embedded-VRTはLinuxを利用することによりこの不足を補います。

*Browser, Internet, GUI.....*

### 過去資産の有効利用

iTRONの過去資産を活用しながら、新規開発部分をLinuxで開発。

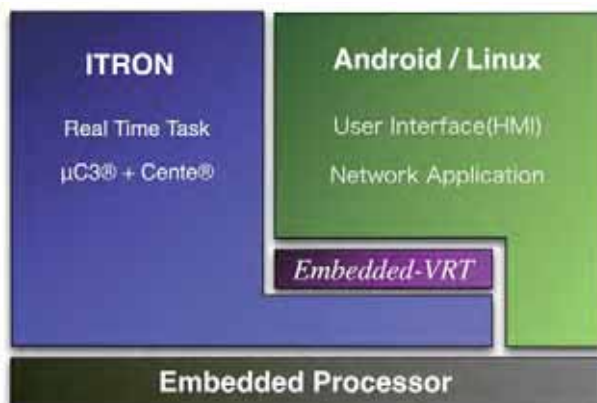
またボードベンダーから提供されるLinuxソフトウェアはそのまま使用できるため、開発コストの削減と安定性の向上を実現します。

### システムの堅剛性向上に

Linuxがダウンしてしまっても、iTRONから再起動、デバック、通知。OSをふたつ持つことにより、システムの堅剛性をより高めることができます。

### LinuxのGPL回避策

製品の核となる部分はiTRON側、汎用的な部分をLinux側に持たせることによりGPLによる技術の公開を防ぐことができます。



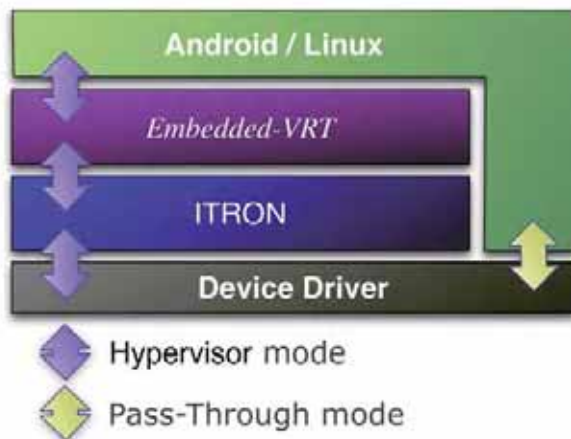
ソフトウェア概念図

### RTOSを生かした仮想化技術

Embedded-VRTではRTOSの持ち味を生かすため、完全仮想化の仕組みをとらず、準仮想化の仕組みを採用しています。

## スケジュール管理

Embedded-VRTではRT性を重視し、GuestOSのLinuxはTaskスケジューラーで最も優先度が低く設定されています。これによりLinuxの負荷が高くなってもiTRONのTaskが優先されます。



## デバイスドライバの共有

Embedded-VRTではハイパバイザモードとパススルーモードの二種類を用意しています。ユーザーの仕様によりデバイスドライバをiTRONとLinuxで共有したり、別々に使用したりすることが可能です。

## RTOSへの機能拡張

Embedded-VRTはHostOSにeForce社製  $\mu$  C3<sup>®</sup>を採用しています。これによりLinuxの使用だけでなく、データテクノロジー社のミドルウェアCent<sup>®</sup>を利用したRTOSへの機能拡張が可能です。



# Embedded-VRT



## Embedded-VRTサポートアーキテクチャ

ARM, ATOM, SH4, Microblaze(FPGA)

## Embedded-VRT評価キット

Embedded-VRTではソフトウェア評価のための評価キットを用意しています。

## Armadillo-9



### 内容物

- Embedded-VRT評価用ソフトウェア 1式  
(Linuxソース,  $\mu$  C3バイナリ, WB-VRTバイナリコード, 開発環境(注))
  - Embedded-VRT評価用ハードウェア(Armadillo9) 1台  
(COMポート拡張版)
  - 取り扱い説明書 1式  
(ビルド手順/起動手順/使用方法に関する情報)
- 198,000円(定価)

注) itronコンパイラは [http://www.iar.co.jp/ew\\_jp](http://www.iar.co.jp/ew_jp) にて IAR Embedded Workbench (ARM)評価版をダウンロードしてお使い下さい。

記載されている製品および会社名は、各社の商号、登録商標又は商標です。

製造・販売元:



〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-14-2 新横浜214

TEL: 045-470-6668 / FAX: 045-470-6669

URL <http://www.wellintec.co.jp> E-mail [wit-info@wellintec.co.jp](mailto:wit-info@wellintec.co.jp)